

# 未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

## 力を合わせる・考え動く・人とつながる

いよいよ、運動会が迫ってきました。今年の夏は、「地球沸騰化」という言葉が生まれるほどの異常な暑さで、厳しい残暑は運動会練習中も続きました。こども達は、体調に気をつけながら一生懸命練習に励みました。

6年生は、全校練習、応援と本当に大忙しの毎日でした。北小を引っ張っていくことの難しさを感じながら、いろいろと工夫を凝らして頑張りました。

朝、一人の6年生が「なんか、実感わかへんな・・・。」とぽつり。6年生にとっては、北小最後の運動会です。苦労した分だけ、成功した時の喜びはひとしおのものがあるでしょう。

2学期の始業式では、「力を合わせる」ことについて話しました。「力を合わせたらきっといいことが起こる」ということを子ども達に尋ねると、運動会、音楽会、マラソン記録会、修学旅行等の行事の他、授業、委員会活動、学級の係り活動、掃除、給食当番等の日常生活までたくさん出てきました。

この運動会も、力を合わせようとすることで、教育目標に掲げているように、自ら考え動き、人とつながってほしいと思います。やり切った時の子ども達がどんな笑顔を見せてくれるでしょう。楽しみです。

## 人の名前呼び方について・・・「いその！」「いそのさん」「いそのちゃん」

先日の職員会議で、子ども達同士の、あるいは私たち教職員と子ども達の間での言葉遣いについて話し合う機会がありました。その中で、特に話題に上ったのが人への呼び方です。

同級生に、例えば「いそのカツオ」という名前の子がいたとします。「いそのさん」、「かつおさん」、「いそのちゃん」、「かつおちゃん」、それぞれ印象が変わります。時には、「おい、いその」「カツオ！」と呼び捨てにする場合もあります。呼び捨てで呼ばれ、嬉しい時もあるし、嫌な気がする時もあります。また、みんな呼び捨てで名前を言い合っている中、ひとりだけ「いそのさん」と言われると、寂しいような、距離を置かれているような感じにもなります。私たちは、呼び方で、その人との距離感を伝えていることがあるかもしれません。それは、子ども達だけでなく大人である私達も同じであると思います。

子ども達には、友達に対して呼び方を変えることで人を傷つけることがあることを知ってほしいと思います。お子様が誕生した時、ご家庭で知恵をしぼり、思いを込めて授けてくださった名前。みんなで「さん」をつけて大切にしていきたいと思います。

